

歯科衛生士への学び方がわかる!ショートストーリー



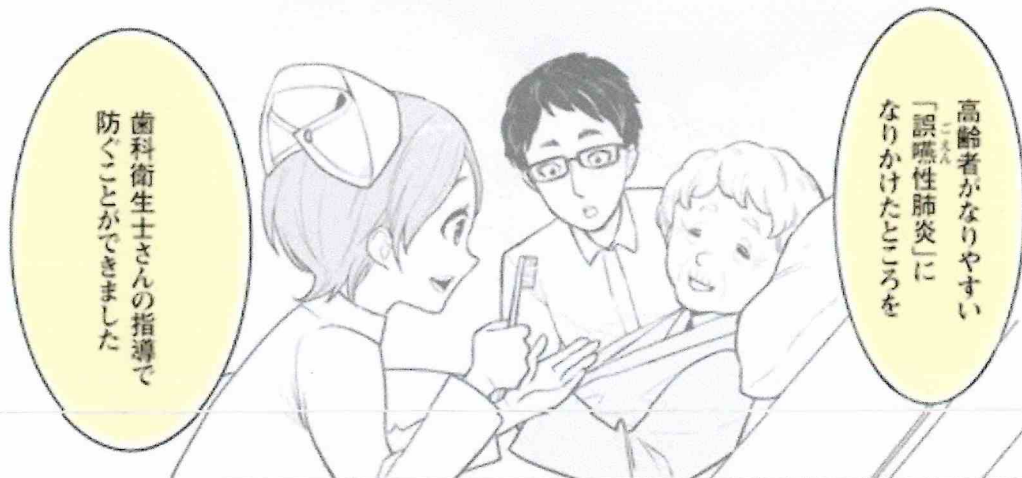
※学校名以外の登場人物などの名称は架空のものです。

実際のものとの関係はありません。

歯科衛生士は、歯周病や虫歯にならないための「予防処置」、歯科医師の指示で行う「歯科診療の補助」、診療室や学校、職場での「歯磨き指導や歯科健康指導」などの仕事を行います。



歯科衛生士は国家試験によって定められた資格が必要な職業で、歯科助手とは異なり、直接患者さんの口腔内に触れて処置を行う事ができます。



「肺炎」の一種の「誤嚥（ごえん）性肺炎」とは、高齢者の死亡原因の上位にあがる病気です。

食物をうまく飲み込めず（誤嚥）肺に入ってしまう、細菌が繁殖することが原因でおこります

が、歯科衛生士による専門的な処置によって予防できます。



歯科衛生士は医療チームの一員として、症例や治療に応じて栄養管理を行います。また、口の中の衛生管理の徹底を図ることで病気の発症を防いだり、食べる・飲みこむ際の障害や口臭等に対するケアを行い、入院患者の生活の質向上や早期回復に貢献します。



歯科衛生士の活躍の場は歯科医院はもちろん、病院や市町村、歯科衛生士学校、保健所、事業所、介護老人保健施設など多岐にわたります。

歯科衛生士は、細やかな心づかいやソフトな対応が求められ、女性の従事者が多い職業です。結婚・出産後に再就職される方も多く、収入も安定傾向にあるといわれています。



今後、歯科や歯科衛生士に求められることは、「全身の健康や生活の質を高める」「食べる・話すなどの口腔機能を保つ」ことから、高齢者を支援する「生活を支える医療」になっていくと思われます。



葵メディカルアカデミーでは、一般の歯科医院をはじめ、保育園、福祉施設、障害者歯科、そして関連施設の深谷中央病院など、様々な現場で実習を行い、より実践的なスキルを養います。



患者さんの笑顔と
感謝の言葉は
私の一番の支えよ

歯科衛生の
仕事は

健康の入り口を
守っているんじゃないかな

うん！

…参加して
みよっか

歯科衛生士が
学んだ学校を
学校説明会でもっと
知ってみませんか？

